

## マニュファクチャリング・インドネシア 2014 報告書

マニュファクチャリング・インドネシア 2014 の展示会に参加してきました。海外展示会出展への支援事業は初の試みであり、不安も多い中の挑戦でした。

インドネシアは平均年齢 26 歳と人口増加・経済成長著しい国です。道路交通事情は決して良いとは言えませんが、活気溢れる町並みは、恐らく高度経済成長期の日本もこんな感じだったのではと感じました。

展示会出展に向けての準備は、ジャカルタにはイスラム教徒（ムスリム）が約 90% 住んでいるという事もあり、事前にセミナー等によりイスラムに対する知識を得ました。ジャカルタでは相模原市の知名度は、ほぼゼロと言っても過言ではない状況です。そんな中でのブース展示には不安があることから、HIDA の協力により、事前に HIDA の卒業生に対して展示会誘致等を行っていただきました。事前準備としては出来る限りのことをしてから展示会に臨みました。

展示会会期は 2014.12.3~12.6 の 4 日間。ガルーダインドネシア航空を利用して、12月1日の正午に出発し、ジャカルタ時間で 18 時に到着（約 8 時間のフライト・日本との時差は 2 時間）。成田発ジャカルタ行きのガルーダには、機内に入国管理官が搭乗するので、機内にて入国手続きが完了することから、到着後の入国手続きはスルーできます。スムーズに入国できるのは大きなメリットでした（残念ながら 2015.1.7 で機内入国審査プログラムは終了してしまいました）。



ガルーダ成田空港ロビー

荷物受け取りの為、掲示板の指示に従いコンベア前にて待機。しばらくして、口頭にて荷物受取のコンベアの箇所が変更されました（インドネシアでは良くあることらしい）。掲示板には変更の指示は無く、そのまま違う表示のコンベアの前で待機することに。変更後のコンベアの前で待つこと 10 分、ビジネスクラスの方の荷物が出てきました。その後、待てど暮らせど荷物が出て来ない・・・本当に届いているか不安になるが、約 20 分後に荷物がようやく出てきました。荷物受け取り後は、制服らしきモノを着た方が親切にカートを持ってきて下さり、愛想良く「運ぶよ」の合図をしてくれます。大した手荷物でもないので丁重にお断りをしました。荷物を預けると当然のことながら、チップが発生します。どうやらポーターをご商売にされているらしい。空港にて正規雇用はしていないポーターですが、是非、利用してみてください。

空港ではタイから入国される企業の方とロビーにて待ち合わせを予定。タイからの便は我々より 10 分先に着いているので、ロビーで待っているはずでしたが、不在。もしや、はぐれてしまったのでは？と不安になる。携帯電話に電話しても不通。子どもじゃないの

だから、先に行ってしまうか？とも考えましたが、連絡がつくまでは待つことに。タイからの便も到着していることになっていたの、空港内を探索。15分後に当初予定したロビーにて無事合流できました。「手荷物が出てくるまでにもものすごく待たされました。」とのこと。インドネシア時間を肌で感じることができました。

皆で両替所へ赴くことにしました。両替所も空港内に何箇所もあり、ロビー出口付近の両替所のレートが一番悪いです。ロビー付近では1万円で96万ルピア、少し離れば98万ルピアでした。2万ルピア（約2000円）も違うのは大きな差です。

その後、チャーターしたバスでALILA Jakarta ホテルへ。距離としては約20キロなので、20分もあれば到着予定ですが、結局は45分程度かかりました。ジャカルタ名物の渋滞は避けられない交通事情です。



現地空港内両替所

ホテル到着後は、1階のレストランにて中華料理を堪能しました。インドネシアについて最初の食事が中華というのもいかなものかと思いましたが、他に選択肢が無いのでOKです。レストランのお客様は他に1組しかおらず、日本人の団体が16人で一気にオーダーしました。厨房が急遽、騒がしくなるのも無理はありません。とりあえずビールということで、インドネシアを代表する「BINTANG」ビールをオーダーしました。全員分のビールが出てくるのにも10分以上かかりました。無理もありません、ホテルと言ってもここはジャカルタです。イスラム圏なので、アルコールを飲む習慣は基本的には無いのです。食事に関しては、言わずもがな時間はそれなりにかかりました。味は個人的には美味しかったです。食事を済ませてひと段落した後に就寝となりました。現地時間で12時（日本時間で午前2時）になりました。眠いわけです。

翌朝に向けて就寝しましたが、朝は4時に起床してしまいました。日本時間では6時なので、いつも通りの起床時間です。2度寝を試み、浅い眠りに四苦八苦し、現地時間の5時半に覚悟を決めて起床しました。

朝食はバイキング形式。ホテルのバイキングはよりどりみどり、どれから食べて良いかわからないほど種類が豊富です。5泊するので、徐々に食べることにしました。あまりがつくとコンディションが崩れてしまうので腹8分目にしておきました。